

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 2年 3月 9日

事業所名 療育センターももっこ

保護者等数（児童数） 19

回収数 9

割合 47%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1				
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8	1				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8			1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか						
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	8	1			月1回と利用日数が減ったので仕方ないとは思いますが、相談内容に対して、もう少し踏み込んだ助言、対応してほしい。	利用児の相談については、今以上に相談体制を強化していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	2			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7		2			
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	2				

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちら とも いえない	いいえ	わからない		
保護者への説明等	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	4		1		法人のホームページへ公表していることを再度お伝えしていきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	7	2				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	3	1	1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか						
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1				
	18	事業所の支援に満足しているか	8	1				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 9日

事業所名 療育センターももっこ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2		1	活動内容に応じて、事業所外のスペースを借りて活動を行なっています。
	2	職員の配置数は適切である	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2		1	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2		1	運営会議等で定期的に業務についての確認を行なっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			年に1回アンケートを実施し、結果を共有しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		法人内で実施しているサービス向上委員会にて評価機会を設定していることを現場職員の周知に努めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2		1	法人内での定期的に研修へ参加している。外部研修の案内はされているが、参加は充分にはできていない。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2		1	アセスメントツールが定まっておらず、職員の主観に偏りやすい状況であるため、客観的な指標が必要であり、検討します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		2	1	アセスメントツールが定まっておらず、職員の主観に偏りやすい状況であるため、客観的な指標が必要であり、検討します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2		1	担当者が立案し、共有できるよう会議等で話し合っています。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			調理、創作、外出等の活動を設定し、同じ内容が続かないようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		2	1	月1回の土曜日の活動設定のため、月ごとの内容設定で実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	2		個々の状況に応じて計画を作成しているが、主活動は集団活動にて実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	1		当日の流れを資料作成し、事前に共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1		反省会を行い、共有すべき事項を確認するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1		2	記録は部分的なことが多いため、改善に努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			半年ごとに計画見直しを行なっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2		1	毎回、活動内容を変更し、幅広く経験を広げていけるようにしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		機会を持っていないのが現状です。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		2	1	休日、月1回のみ利用のため、該当する内容を共有する機会は少なく、学校の情報については保護者より伺っている状況です。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当例がないが、今後必要となってきた場合に備えての対応策は必要。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1		必要に応じて情報を共有し合う体制作りを行ないます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	利用対象児を低年齢までとしているため、該当ありません。			

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	1	調整しながら参加できるよう心掛けています。見学等の機会を増やしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	1	公共の場へ外出活動にて出かけることはあるが、一緒に活動する機会は持っていないのが現状です。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			利用日には、その日の様子を伝え、家庭や学校生活で変わりがないか尋ねたりしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			3	家族支援プログラムについての知識、技術向上のための取り組みが十分でないため検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			契約時に説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2		1	利用日には相談を受けられる体制をとり、必要に応じて個別に面談の時間を設けています。助言が的確にできるよう職員個々のスキルを上げていく必要は感じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3			茶話会の案内を配布し、機会を設けています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			契約時に相談窓口をお伝えし、相談や申し入れがあった場合には報告をあげて職員に周知、改善を促しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			3	行事等のお知らせは都度配布しているが、実施後の報告が曖昧であるため、お知らせボード等を検討します。
	35	個人情報に十分注意している	3			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2		1	視覚支援ツールの使用等を行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2	1

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	1	1	保護者の方へ資料配布等でお知らせし、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2		1	年間で計画を立て、計画的に訓練を行なっているが、放課後等デイサービスを想定しての実施はできていないため今後設定していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			法人内にて研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明している	3			契約時に説明し、職員も周知しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3			医師の指示書があれば対応しています。現状は保護者の方からの聞き取りにはなるが、対応は行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1		起きた事柄については共有していますが、書面での作成は徹底できていないため改善していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。